

2020年東京 五輪競技会場誘致



▲東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会副委員長(写真左)

12月15日、東京五輪の追加種目にあがっているサーフィンの競技の会場誘致として村長と議長が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と東京都オリンピック・パラリンピック準備局を訪れ、要望書を提出しました。新島村では、日本選手権や都知事杯など多くの大会実績があり、村を挙げて大会を支える経験と熱意は整っているとして、競技会場として強く誘致・選定を要望しました。五輪追加種目については、来年8月に行われるリオデジャネイロ五輪前に開くIOC総会を経て正式に決定する見通しです。

平成28年新島・式根島出初め式

1月6日、新島・式根島消防団が平成28年出初め式を行い、ポンプ操法や一斉放水を披露しました。また、元新島消防団副団長・前田幹生さんに村と消防団から感謝状と記念品が送られました。最後に前年の活動で優秀と認められた分団や団員を表彰しました。表彰は次のとおりです。



▲式根島消防団一斉放水

▼新島消防団(敬称略)

優良分団 第5分団

優良団員

第一分団 清水 誠

第二分団 登 芳久

第三分団 木村 諭史

第四分団 宮川 幸一

第五分団 富田 俊介

第六分団 梅田 力良

第七分団 前田 佳彦

第八分団 植松 裕

第九分団 猪狩 尚史

第十分団 宮原 祥

第十一分団 比留間 雅尚

第十二分団 大沼 祐樹

第十三分団 鈴木 秀和

第十四分団 前田 雄大

第十五分団 中島 信一

第十六分団 前田 海門

▼式根島消防団(敬称略)

優良分団 第1分団

優良団員

第一分団 藤井 匡

第二分団 池田 聡

第三分団 藤井 知浩

第四分団 蟹江 勉

第五分団 下井 勝博

第六分団 梅田 和裕

「電力系統出力変動対応技術研究開発事業」

第5回実証WG会議が開催されました



▲第5回実証ワーキンググループ会議の様子

旨をご理解の上、ご協力いただけますようお願いいたします。

【問い合わせ】

企画財政課 再生可能エネルギー実証実験プロジェクトチーム

☎(5)0204(直通)

※予測技術系統運用シミュレーションとは？

現在の再生可能エネルギーの導入については、大きく分けると次のような課題が残っています。

- 太陽光発電における日照時間、風力発電における風の強弱などの自然条件に左右されやすく、安定した電力の供給に不安が残る
- 火力発電の既存のエネルギーと比較すると発電コストが高い
- 休日など電気の需要が少ない時に使用する電力より発電される電力が多くなってしまう時に電力が余ってしまうため、発電出力の抑制や蓄電池などの設置が必要

このような課題を克服するため、再生可能エネルギーで作られた電気を蓄え、安定的に供給するための蓄電池の導入に関するコストの削減や性能の向上のための研究開発に国をあげて取り組んでいます。そこで、新島村で日本の将来を見すえた課題解決のための実証実験を行うこととなりました。

この実証実験により、新島村は再生可能エネルギーの実証先進地の一つとなります。

昨年12月18日、村が協力している国の実証事業「電力系統出力変動対応技術研究開発事業」の第5回実証ワーキンググループ会議が新島村クリエイティブセンターで開催されました。この会議には本事業の委託先である東京大学、東京電力、電力中央研究所、東光高岳等で構成される「予測技術系統運用シミュレーション」(※)グループの皆さん約40名の方が来島されました。会議には村からも村長をはじめ、村議会議員の皆さん、役場内再生可能エネルギー実証実験プロジェクトチームの4名が参加しました。現在も村内に続々と再生可能エネルギーの実験施設ができています。住民の皆さんにおかれましては、様々な形で協力いただくこともあろうかと思っておりますので、本事業の趣